

## 第2回 利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会

### 議 事 要 旨

■日 時：令和8年2月16日（月） 14:00～15:00

■場 所：利根川下流河川事務所会議室 WEB 併用

#### ■議事要旨

##### 1. アクションプラン策定に向けた取組報告

###### (1) 取組内容、主な意見

- ・アクションプラン策定に向けた取組内容を報告した。

##### 2. 利根川下流域エコネット・地域づくりアクションプランの策定について

###### (1) アクションプラン（案）の確認

- ・アクションプラン（案）について確認した。

###### (2) 各委員よりご意見「アクションプランに期待すること」

- ・「アクションプランに期待すること」について意見交換を行った。

##### 3. 今後の取組について

###### (1) 推進体制役割分担

- ・利根川下流域エコネット・地域づくりアクションプランの推進体制役割分担について確認した。

###### (2) アクションプラン具体化に向けた取組（案）

- ・アクションプラン具体化に向けた取組（案）について確認した。

#### ■配布資料

- ・議事次第／出席者名簿／規約・委員名簿／配席表
- ・資料1：アクションプラン策定に向けた取組内容
- ・資料2：利根川下流域エコネット・地域づくりアクションプラン（案）
- ・資料3：推進体制役割分担
- ・資料4：アクションプラン具体化に向けた取組（案）

■出席者

構成	氏名	団体名等
関係市町	沼田 実	茨城県 神栖市 副市長
	越川 信一	千葉県 銚子市長
	伊藤 友則	千葉県 香取市長
	向後 喜一郎	千葉県 東庄町 副町長
関係行政機関 (県・国)	稲川 玲	茨城県土木部 河川課 課長補佐(WEB)
	鈴木 宏昌	千葉県県土整備部 河川環境課 副課長
	作田 大	関東地方整備局河川部 河川環境課長補佐
	三枝 伸太郎	関東地方整備局利根川下流河川事務所長

## ■議事内容

### 1. アクションプラン策定に向けた取組報告

#### (1) 取組内容、主な意見

##### ○ 事務局

【資料1】アクションプラン策定に向けた取組内容を報告

→異論なし

### 2. 利根川下流域エコネット・地域づくりアクションプランの策定について

#### (1) アクションプラン（案）の確認

##### ○ 事務局

【資料2】利根川下流域エコネット・地域づくりアクションプラン（案）を確認

→下記の意見を踏まえてアクションプランが承認された。

#### (2) 各委員よりご意見「アクションプランに期待すること」

##### ○ 銚子市

自然再生地での、子どもたちを対象とした、たも網の体験等を行っており、漁業者の皆様にも大変ご協力をいただいた。こうした体験を広げていきたい。野鳥観察についても、銚子市でもコウノトリが観察されており、子どもたち、あるいは大人が河川環境を知る機会を、このアクションプランをきっかけに推進したい。また、銚子市は千葉県唯一のジオパークであるため、自然再生地をジオパークのエコサイトに位置づけ、利根川下流河川事務所とジオパーク推進協議会とで包括連携協定を結び、観光客やジオパークに訪れる方々を案内したい。銚子市でもチバニアンを見ることができるところがあり、自然再生地への案内とミックスさせながら、ガイドツアーのようなものを企画したい。

駐車場の確保や案内板等、ハード整備が必要であると感じるため、利根川下流河川事務所と相談しながら、銚子市として整備すべきものは整備していきたい。

最近では利根川に親しむ機会がなくなってしまったが、川を愛する、川を浄化するといった、色々な団体と連携しながらアクションプランを進めていきたい。

##### ○ 香取市

今回のアクションプラン策定に期待をしている。自然環境保全、観光資源、この活性化は市にとっても重要であり、このプランを通じて、地域の価値を高めていきたい。また、産物においては、香取市は関東一の米どころでもあり、自然環境、歴史、文化が調和した地域である。これら利根川の恵みを受けた良質な米、あるいは農産物を生かして、醸造業も発展してきた歴史がある。利根川水運の主要な拠点として栄えた小江戸・佐原の街並みは、現在、重要伝統的建造物群として面影を残している。こうした佐原の情緒あふれる街並みは、国内外から訪れる多くの人々を魅了する一方、利根川の河川敷においては、オオセッカ、コジュリンなど、貴重な野鳥が集うなど、自然の宝庫である。近年、谷津田の田園空間博物館エリアにもコウノトリが飛来するなど、自然と人間が共存する農村の景観が癒しを与えてくれている。

このように、香取市としては自然、食、歴史3つのテーマを渡った特色ある地域づくりを進めたく、自然と調和する景観魅力を発信していきたい。また、アクションプランを活用して、独自の資源を効果的に活用して、活性化を図りながら環境保全に配慮する持続可能な未来が実現するよう取り組んでまいりたい。

##### ○ 神栖市

この利根川下流エコネット・地域づくりアクションプランが、皆様の多大なるご尽力により取りまとめられたことに深く敬意を表するとともに、本プランの掲げる、水郷の

恵みを未来につなぐという理念に、賛同する。当市では、波崎地区の利根川沿いにおいて、国の特別天然記念物であるコウノトリが定着し、繁殖するという大変喜ばしい成果が生まれている。これは豊かな自然環境の証であり、私たち地域住民にとって大きな誇りでもある。

本アクションプランにおいて、神栖市はコウノトリとヤマトシジミの里をテーマに掲げた。今後、この貴重な地域資源を生かし、観光環境学習やエコツーリズムを推進することで、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげていければと考えている。当市としては、今後も銚子市、香取市、東庄町、そして茨城県、千葉県と手を携え、この利根川下流域が人と自然が共生する持続可能な社会となるよう、引き続き取り組んでまいりたい。

○ 東庄町

東庄町は、人口減少という大きな問題に直面しており、利根川下流域は自然が豊かで、また、自然を守ろうとする、こういった取り組みに対して共感をしていただき、移住、定住の促進が図れるといいと思っている。恒例となったヨシ焼きは、子どもたちの経験教育等に大変役立っているため、今後も続けていきたい。

また、コジュリンやオオセッカなど、そういった生息域がきちんと守られるように努力をしていきたい。今の時点では鳥類、貴重な鳥類などが挙げられているが、水生植物であっても貴重な水生植物が群生している可能性もあるため、こういったものを確認されたのであれば、アクションプランの中に、保護等を載せていただけるとありがたい。

○ 茨城県

茨城県としては、観光支援や情報発信、PR 活動という専門部署もあるため、そちらとも連携して、この取り組みを共有することで多くの方々にメディアなどを通じて情報発信できるように調整してまいりたい。

○ 千葉県

当課は河川管理者であり、この中の取り組み自体をすべてできるものではないため、県の中で情報を共有しながら、利根川下流河川事務所と協力しながら進めていきたい。

○ 関東地方整備局 河川環境課

利根川下流域において、川を軸にしたネイチャーポジティブを達成するために各政策を積み上げてきており、協議会に活気があるように感じる。各自治体で KPI を定めているが、人がいなかったり、お金がなかったりと制約が多い中で、「各自治体の状況に応じた柔軟な対応」という記載は、とてもいいことである。ネイチャーポジティブにどれだけの人と資金を割くのかというのは、行政のトップにいる方たちの判断だが、今の状況でこの政策には投じなくとも、世代が変わり、未来に向けて、あるタイミングでこれが有用になるかもしれない。その時まで、情報収集としてこの場に属していただくことは、とても意味のあることだと思っている。この枠組みに参加していただき、多様な情報を収集していただきたい。

関東エコロジカルネットワーク側には、動物園や企業等、多様なメンバーがおり、各自治体の取り組み支援や連携の可能性があるため、利根川下流河川事務所を経由せず、直接でも構わないので、お声がけいただきたい。

○ 関東地方整備局 利根川下流河川事務所

アクションプラン自体を前向きに捉えていただき、利根川下流域の空間をよりよく活用していきたい、という方向性の確認ができたと感じている。アクションプラン策定は

一つの区切りではあるが、この区切りにとどまることなく、今後の時代の変化、環境の変化に柔軟に対応し、自治体の、あるいは利根川下流河川事務所のできることを、できないことも含めて、柔軟に対応していくということが必要である。今後の未来に向けて、魅力ある地域づくりにつながるものにするためには、本日の協議会のような場も活用し、連携しながら話を進めていく、継続していくということが、重要だと感じた。改めて、今後、さらに発展していくために協力してやっていきたい。

### 3. 今後の取組について

#### (1) 推進体制役割分担

##### ○ 事務局

【資料3】利根川下流域エコネット・地域づくりアクションプランの推進体制役割分担について確認した。

→異論なし

#### (2) アクションプラン具体化に向けた取組（案）

##### ○ 事務局

【資料4】アクションプラン具体化に向けた取組（案）について確認した。

→異論なし

以 上